

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第1回美幌町義務教育学校開校検討委員会
開 催 日 時	令和7年5月20日（火） 18時00分 開会 19時36分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ1階 集団健診ホール
出 席 者 氏 名	【委員】20名 中川委員長、中山委員、小林委員、西田委員、長岡委員、伊藤委員、山本委員、澤田委員、寺崎委員、牛島委員、采女委員、森委員、加藤委員、川添委員、佐藤委員、吉田委員、大原委員、花田委員、佐々木委員、熊崎委員 【オブザーバー】 小室教育長
欠 席 者 氏 名	豊澤委員、辻委員
事務局職員職氏名	中尾教育部長、高田学校教育課長、弓山学校給食課長、浅野社会教育課長兼スポーツ振興課長、鬼丸博物館長、菅図書館長、藪下指導主事、辻総務G主査、佐藤総務G主査、堀口学校教育G主査、大内児童支援主幹、廣田建築主幹
議 題	1 開会 2 教育長挨拶 3 委嘱状交付・委員等紹介 4 委員長互選 5 これまでの取り組み （1）義務教育学校開校に向けたロードマップについて （2）美幌町小中一貫教育推進ビジョン（令和6年7月策定）について （3）美幌町義務教育学校整備基本方針（令和7年3月策定）について 6 開校検討委員会の今後のスケジュールについて 7 その他 8 閉会
会議の公開又は非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	3名（報道機関）
資 料 の 名 称	○議案 ○資料番号1 義務教育学校開校に向けたロードマップ ○資料番号2 美幌町小中一貫教育推進ビジョン（概要版） ○資料番号3 美幌町小中一貫教育推進ビジョン ○資料番号4 美幌町義務教育学校整備基本方針（スライド） ○資料番号5 美幌町義務教育学校整備基本方針 ○資料番号6 開校検討委員会の今後のスケジュールについて
会議録の作成方針	☐ 録音テープを使用した全部記録
	☒ 録音テープを使用した要点記録
	☐ 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局	1 開会 （進行：中尾教育部長）
小室教育長	2 教育長挨拶 小室教育長より開会挨拶。
事務局	3 委嘱状交付・委員等紹介 委嘱状の交付（机上配付）。 委員及び事務局の紹介。
事務局 中川委員長	4 委員長互選 中川委員を委員長に選任。 中川委員長より挨拶。 （以降、進行は中川委員長）
事務局	5 これまでの取り組み （１）義務教育学校開校に向けたロードマップについて （２）美幌町小中一貫教育推進ビジョン（令和６年７月策定）について （３）美幌町義務教育学校整備基本方針（令和７年３月策定）について 資料番号１～５に基づき事務局より一括で説明。
采女委員	説明の中で個人的な意見が入っていたり、省略していた場面が見られたが、委員は資料の詳しい説明を受け協議するため集まっているため、説明の仕方をしっかり考えてほしい。
事務局	以後注意したい。
佐々木委員	資料番号１（ロードマップ）の中で、令和１１年度から「教育課程の試行実施」とあるが、この時期とした理由を教えてください。 また、義務教育学校の開校が早まる可能性はあるのか。
事務局	教育課程の試行実施については、令和８年度からの開校準備委員会で具体的に協議していくため、スケジュールは流動的であり、あくまで目安として捉えていただきたい。 義務教育学校の開校については、ハード面では新築の場合で工事が３年程度かかる。増築・改修になると工事期間は短くなる可能性はあるが、ソフト面もしっかりと時間をかけて固めていく必要があるため、今のスケジュールから大きく動くことはないと考えている。
佐々木委員	教育課程は早い時期から一貫性を持つことができるのではないかと考えている。例えば旭小と美中では連携した教育の実践を進めている。美幌小、東陽小、北中は３校になるので分散して難しい部分もあるかもしれないが、やりやすい分野から始めてはどうか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局	町長との意見交換等においても、開校を待たずに実践できるところから進めるといって話をしている。先行して取り組めるものは取り組んでいく。
森委員	美幌小、東陽小、北中では、各学校のグランドデザインにおける重点目標の統一化を図っている。具体的な取り組みについても今後統一していければと思っている。
吉田委員	委員会の進め方について、議案の事前配付をしていただけると目を通せるのでありがたい。 ビジョン等を策定する中でモデルとした先進校はあるのか。 私が事前に見た中では、信濃町立信濃小中学校、高知市立義務教育学校土佐山学舎、新富町立新田小中学校なども参考になると思う。
事務局	議案の事前配付については、次回以降対応したい。 これまで様々な先進校を視察し参考にしているが、直近では児童生徒数の規模が近い砂川学園を参考にしている。
澤田委員	ビジョンの中の美幌スペシャル「英語教育」、「キャリア教育」「ふるさと教育」について、全国的にも美幌でしかできない取り組みをカリキュラムに組み込んでほしい。 特に英語教育は、語学を学ぶ上で使う環境が無いと伸びないので、学校だけではなく町全体で使える環境を整えていただきたい。
山本委員	美幌町の義務教育学校の校名は公募して決めるのか。
事務局	令和８年度からの開校準備委員会の中で専門の部会を設置し協議する。
事務局	6 開校検討委員会の今後のスケジュールについて 資料番号６に基づき事務局より説明。 （質疑等なし） 7 その他 （特になし） 8 閉会 <u>19時36分 閉会</u>